

平成 29 年度 学校運営評価の結果について

平成 29 年度は新入生 40 名を迎え、総計 121 名で始業した。教員の移動もなくこれまで通り、本校の教育理念・教育目標に対する教員の意思統一も図れ学校運営ができた。

1. 教育活動については、教員の経験も充実し学生の個々に応じた対応ができています。
しかし、第 2 学年が定員を超えて在籍しているのは、2 学年の科目履修が困難な学生が増えていることによる。また、3 学年の在籍数が減少していることも 2 学年の留年生増加によるものが大きい。
学習方法等の個人面談による指導は行っているが、指導の効果が継続的なものになるよう再考が必要である。また、1 学年からの基礎知識の蓄積を図ることが喫緊の課題である。
2. 教授・学習・評価過程については、教科ごとシラバスに沿った教授ができています。
外部講師の意見では学習態度は概ね良好であり、まじめに取り組んでいるという評価である。
成績の二極化が生じつつある。
単位習得に関しては体調不良による単位未習得や学習不足による単位未習得者がいる。
3. 経営・管理については学習効果の向上を図るための備品等の購入も可能な限り積極的である。
平成 29 年度は自己学習を効果的にできるよう、講義形式の DVD を購入し学生が理解できるまで繰り返し視聴できるようにしている。建物自体も部分的に補修が必要となっているが速やかに補修できている。
4. 入学生は定員を充足して募集できている。
第 1 0 7 回看護師国家試験在校生全員合格である。

上記の結果より、学校の経営・管理についてはほぼ良好で学生の学びやすい環境を整えることに関しては良い評価ができる。教育方法や学生支援においては理解力に応じた教授方法の工夫が課題である。また、個別の支援を要する学生が増加する傾向にあることも考慮しておく必要がある。

今年度の看護師国家試験の全員合格は学生への支援の方法が効果的であったと言える。